

活動プロ A-1 (キャンプ活動) キャンピング

野営は、日常的な文明生活から離れ、自然への回帰から始まります。野鳥のさえずりに朝を知り、虫の鳴き声に夕べを知る。その中に自らを律し、創意工夫によって生活を築いていくなど野営の目的はまさにここにあるとよいでしょう。



1. 活動場所、所要時間

自然の家野営場（利用期間：4月下旬～10月）

- ・ ロッジ泊（9棟にそれぞれ14名宿泊可）
- ・ テント泊 設営・・・・・・・・1～2時間 撤収・・・・・・・・0.5時間

2. 準備

自然の家 (西準備室)	テント泊：テント用具一式、銀マット、シュラフ、ランタンなど
個人・団体	軍手、懐中電灯、虫除けスプレー、蚊取り線香（電池式のものに限り）

3. 施設概要

(1) 施設

- 野外活動センター1棟 ○ 炊飯場2棟（東・西） ○ トイレ2棟（東・西）
 - ロッジ（14人収容）9棟 ○ 説明テント ○ テーブル18セット
- ※野営場にはロッジ、炊飯用具、寝具等が常設してあります。テント泊も可能です。

(2) テント用具（西準備室）

- テント（5～6人用10張）
 - シュラフ（寝袋）+ シーツ ○ 銀マット
- ※テント・ロッジ内での蚊取り線香の使用は
できません。（ただし、電池式のものは可）



4. 実施方法

- (1) 集合場所に集まり、団体代表者から説明を聞く。
- (2) テント設営の手順
 - ① みどりの広場内に自分たちのテントを立てる場所を決める。
 - ② テントをたてる。
 - ③ 銀マット・シーツ・ランタン・乾電池式蚊取り器・シュラフ・自分の荷物を運ぶ。

5. 留意点

- (1) テント設営は4人一組で協力すると早くできる。（少なくとも3人一組）
- (2) 道具、用具を取り扱うときは、軍手を着用し、声を掛け合いながらけがのないようにする。
- (3) 活動途中で、ハチの巣やハチが飛び回るところを見かけた場合、腰をかがめ動かさず、いなくなるのを確認してからゆっくりとその場を離れる。（場合によっては活動を中止することも大切です。）